

2018年6月4日

海外インフラ投資拡大に向けた共同組成ファンド第二号案件への出資

～先進性を評価され、第一号案件は同分野のファンド大賞¹を受賞～

① 共同組成ファンド第二号案件への出資

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、資産運用高度化に向けた取組みの一環として、2016年度よりインフラデットファンド投資に取り組んでいますが、今般、英国の運用会社 M&G Investments(以下「M&G」)と海外インフラデットファンド「M&G Infrastructure Loan Fund」(以下「本ファンド」)を共同で組成し、リード投資家として70百万ポンド(約100億円)出資することを決定しました。なお、本案件は、当社が組成協力しリード投資家として出資する海外インフラデットファンドの第二号案件です。

本ファンドは、主に欧州諸国の鉄道、学校、病院等、海外のインフラ関連プロジェクトファイナンス債権への投資を行う予定です。当社は、本ファンドへの投資を通じて、M&Gの持つ日本およびグローバルの商業銀行等とのネットワークを活用し、収益性の高いプロジェクトファイナンス債権への投資機会を更に拡大させることを目指しています。

【本ファンドの概要】

ファンド名称	M&G Infrastructure Loan Fund
運用会社	M&G Alternatives Investment Management Limited
投資対象	主に欧州諸国における景気変動の影響を受けにくいPPP案件、インフラプロジェクトのプロジェクトファイナンス債権等

② 共同組成ファンド第一号案件のファンド大賞受賞

また、当社が組成協力し、リード投資家として出資している第一号案件の「Cosmic Blue PF Trust Lily」(運用会社:みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社)²が、その先進的なスキーム等を評価され、「Infrastructure Investor Award 2017 - Debt Fundraising of the Year, Global」および「Private Debt Investor Award 2017 - Infrastructure Debt Manager of the Year, Asia-Pacific」を受賞しましたので、併せてお知らせいたします。

当社は、低金利環境下において資産運用収益の向上を図るため、国内外のインフラ関連プロジェクトファイナンスやインフラデットファンド投資等、運用手法の高度化・多様化に引き続き積極的に取り組んでいきます。

¹ オルタナティブ投資関連情報を配信する PEI Media Group が主催する「Infrastructure Investor Award 2017 - Debt Fundraising of the Year, Global」および「Private Debt Investor Award 2017 - Infrastructure Debt Manager of the Year, Asia-Pacific」。インフラ投資およびプライベートデット投資の分野で顕著な成果を挙げたファンドを毎年表彰。

² http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2016_033.pdf